（コード番号９９８７　東証プライム市場、名証プレミア市場、札証）

2026 年 11 月 12 日（木）

Press Release

株式会社スズケン
株式会社 medimo

スズケン・medimo
信頼性の高い医学情報を迅速に検索・確認できる
医師向け生成 AI チャットサービス「medimo AI チャット」を提供開始

株式会社スズケン（本社：名古屋市、代表取締役社長：浅野茂、以下「スズケン」）と、連結対象子会社である株式会社 medimo（本社：東京都港区、代表取締役社長：中原楊、以下「medimo」）は、日常診療で生じる疑問や医学情報について、信頼性の高い出典を示しながら迅速に検索・確認できる医師向け生成 AI チャットサービス「medimo AI チャット」を開発し、11 月 12 日より、スズケングループを通じて全国の医療機関に提供を開始しますので、お知らせいたします。



１．開発の背景と目的

近年、一般的な生成 AI では回答の根拠となる出典や情報源が十分に示されないことから、医療現場では回答内容の信頼性に不安を感じる場面もあり、診療に必要な信頼性の高い医学情報へ迅速にアクセスしたいというニーズに加え、医療機関ごとのマニュアルや独自資料も活用しながら、実務に即した情報を効率的に検索・活用したいというニーズが高まっていました。また、「medimo※1」の利用医師からも、診療中に信頼できる医療情報を迅速に確認できる環境を求める声※2 が寄せられていました。

こうしたニーズに応えるため、出典・根拠を明示しながら必要な医学情報へ迅速にアクセスできる医師向け生成 AI チャットサービス「medimo AI チャット」を開発し、スズケングループの営業ネットワークを通じて全国の医療機関への提供を開始します。

なお、「medimo」利用者は、トップ画面から「medimo AI チャット」を利用でき、診療中に必要な医学情報へ迅速にアクセスできるほか、診療記録の作成から情報検索・確認までをシームレスに行えるようになります。

２．「medimo AI チャット」の特長

① 医師自身が信頼する情報源に基づき、医学情報へ迅速にアクセス

日本の診療ガイドラインや PMDA 添付文書、厚生労働省などの公的情報に加え、医師が信頼する情報源をアップロードし、参照元として追加登録ができます※3。また、medimo 導入施設では診療記録も含めた検索が可能です。

② 診療や施設運用のスタイルに合わせて生成 AI を柔軟にカスタマイズ

回答スタイルやプロンプト、メモリ機能などを自由に設定できるほか、紹介状や退院時サマリーなども、医療機関や医師ごとのフォーマット・文体に合わせて出力できます。加えて、医療機関独自のマニュアルや資料を参照元として活用できるため、実務に即した情報検索や文書作成ができます。

③ 医療現場で安心して活用できる医師専用 AI 基盤

日本国内サーバーで運用し、入力内容は AI 学習に利用されません。患者情報は送信前に匿名化処理を行い、医師限定で利用できる環境を提供します。院内ネットワーク制限下でも利用可能です。

なお、本サービスは医師の情報収集を支援するものであり、診断・治療を目的としたものではありません。診断および治療に関する最終的な判断は、医師ご自身の責任において行われます。

３．サービス概要

項目	内容
サービス名	medimo AI チャット
利用料金	無料（上限あり）
提供形態	Web ブラウザ／アプリ（iOS）
サービスページ	https://medimo.ai/chat

・medimo をご契約の医療機関では、2026 年 10 月 14 日より、medimo 画面から、それ以外の医師の皆さまは、2026 年 11 月 12 日より会員登録の上、ご利用いただけます。

・アップロードした資料は、著作権等について権利者から許諾された範囲内でご利用いただく必要があります。

・1 週間あたり 30 回まで無料で利用可能。利用回数は、質問の送信 1 回を 1 回分としてカウントします。

※ 将来的に有料化する可能性があります。

４．今後の展開について

今後は、「medimo AI チャット」の機能強化を図るとともに、「コラボポータル」や「メディカルケアステーション（MCS）」の共通 ID 基盤である「コラボ ID※4」との連携を進め、医師が日常的に利用する各種サービスから円滑に利用できる環境を整備する予定です。

また、medimo による出版社との連携を通じて、診療ガイドラインや専門書籍などの医療コンテンツの拡充を進めます。

今後も、デジタルサービスとの連携を深化させながら、医療現場における情報活用の高度化と診療の質向上を支援し、地域医療の持続的な発展に貢献してまいります。

※1 medimo：診察時の会話から生成 AI が高精度なカルテ案を自動作成。医療用語に対応した音声認識技術により、医療現場の働き方改革と業務効率化に貢献します。

※2 medimo 自社調査アンケート：調査時期 2026 年 9 月 9～16 日/調査対象「medimo」を使用する医師（回答者数 11 名）/調査方法 アプリ内アンケート/調査主体 株式会社 medimo。複数回答可の設問を含みます。

※3 アップロードした資料は、著作権等について権利者から許諾された範囲内でご利用ください。

※4 コラボ ID：スズケングループのコラボスクエアが開発・運営する「コラボポータル」「メディカルケアステーション（MCS）」の共通 ID 基盤。49 万人超の医療・介護従事者が利用しています。

■株式会社 medimo（https://corp.medimo.ai）

medimo は、スズケングループの一員として、「医療の変曲点になる」をミッションに掲げ、生成 AI を用いた診療録作成プロダクト「medimo」を開発・提供しています。全国約 3,000 軒の医療機関で導入されており、医療現場を支えるプロダクト開発を通じて、日本の医療人材不足という社会課題の解決を目指しています。

■参考：利用医師の声

□ 亀田総合病院　総合内科部長、米国ハワイ州　クイーンズメディカルセンター　ホスピタリスト部門長
野木 真将医師

日本の診療現場では、いまも文書作成に医師の多くの時間が費やされています。診療情報提供書や退院サマリーを自分の型に合わせて出力できる機能は、日々の業務負担を軽くしうるものとして期待しています。さらに「medimo AI チャット」では、医師が参照元を自分で決め、自分専用のデータベースのように使える点が有用です。日本の臨床現場では商品名でのやりとりも多く、院内の採用薬リストやマニュアルを登録できることは、診療実態に沿った使い方につながると思います。

□ ひらまつ整形外科難波ひざスポーツクリニック　院長　平松 久仁彦医師

整形外科の外来では、他院から持参された薬の内容をその場で確認できず、書籍で調べ直すことも少なくありません。診察中の会話から薬剤情報や併用注意を確認できれば、外来の流れを止めずに済むと期待しています。また、患者 ID に紐づいた記録から、プロンプトを書かずに紹介状の下書きを作れる点も実務的です。汎用 AI は医療情報の正確性に不安がありますが、出典が明示され、自院のホームページや自分の診療に近い情報を参照元に指定できることは、臨床で使える AI の重要な条件だと考えています。

■ medimo　代表取締役社長 / 共同創業者 / 医師　中原楊　コメント

日本では医療人材不足が深刻化する中、AI やテクノロジーは医療の質を維持・向上するための重要な手段になると考えています。医療従事者の意思決定や情報収集を支えるために AI を活用しない手はありません。今後も医療従事者が目の前の患者さんに 100％寄り添う時間を創出するため、医療現場に本当に必要なプロダクトを開発し、日本の医療を支えるインフラの構築を目指します。

本プレスリリースは、スズケンと medimo の共同リリースです。各社から重複して配信される場合がございますので、ご了承ください。

以　上

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

＜株式会社スズケン＞
- ◆ 本社所在地：名古屋市東区東片端町 8 番地
- ◆ TEL：052-950-6307 コーポレートコミュニケーション部

＜株式会社 medimo＞
- ◆ 本社所在地：東京都港区虎ノ門 3-8-21 虎ノ門 33 森ビル 4F
- ◆ Mail：pr@medimo.ai（広報）
- ◆ サービスのお問い合わせ：https://medimo.ai/contact